



## 人との距離はあけて、心の距離は近く

副校長 神田 雄二

校門横の桜に引き続き、体育館前の八重桜も花びらを散らせる季節となりました。

4月より本校に着任いたしました。副校長の神田です。今年度から初めて副校長になりました。まだ、何も分からない状況で、ご迷惑をおかけしております。地域・保護者の皆様に温かく迎えていただいたこと、本当にうれしく思います。また、子どもたちの笑顔・挨拶いっぱい洋二小へ着任できましたことをたいへんうれしく感じております。

高島校長をはじめ、教職員とともに力を合わせてチームとして、精一杯、努力してまいります。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

この1か月、あっという間に過ぎていきましたが、たくさんの素敵な出会いがありました。子どもたちとの出会い。元気で明るい笑顔を見ると、心が温かくなり、エネルギーが湧いてきます。子どもたちを毎日見守ってくださっている学援隊の皆様。PTA役員、校外委員の皆様。地域の皆様。多くの皆様が洋二小の子どもたちの笑顔を温かい気持ちで支えてくださっていることを実感しました。

先日の朝会で、「気持ちのよい挨拶」について、児童支援専任の松口から話をしました。①元気よく②笑顔で③自分から④会釈して⑤立ち止まって⑥相手を見てという内容です。相手のことを考えた行動は、お互いが気持ちよく生活を送るために大切なことです。

今、人との距離を以前よりあけることが求められています。これは、相手のことを思っで行うこと。それをみんなが考え、理解し、行動に移すことの大切さ。友達や先生との距離は開きますが、相手を思いやる気持ちを育むことで、心の距離感は今まで以上に近くなれるのだと子どもたちが感じられるよう、教職員一同で取り組んでいきたいと思っております。

感染防止のため、子どもたちの口は常にマスクで隠れています。「目は口ほどに物を言う。」ということわざがあります。このようなときだからこそ、今まで以上に、相手の目をよく見てコミュニケーションを図ることが大切となってきます。友達の目は笑っているのか、そうではないのか、など感情を目から読み取っていくことを子どもたちに伝え、目だけで通じ合える、「アイコンタクトできる仲間」を増やし、より高いコミュニケーション力を身につけていってほしいと思っております。

